

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場会社名 神鋼商事株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8075 URL <http://www.shinsho.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 育廣  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 阿野 健二郎 (TEL) 03-3276-2036  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 平成26年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	426,458	3.5	3,045	22.1	2,997	35.3	1,985	97.3
26年3月期第2四半期	412,177	3.8	2,494	0.7	2,215	1.0	1,006	210.0

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 2,365百万円(△26.0%) 26年3月期第2四半期 3,196百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	22.42	—
26年3月期第2四半期	11.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	241,690	40,425	15.5
26年3月期	232,318	37,537	15.2

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 37,514百万円 26年3月期 35,379百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
27年3月期	—	3.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	940,000	11.8	7,000	22.0	6,400	20.3	4,000	26.6	45.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 1社(社名) Kobelco CH Wire Mexicana, S.A.de C.V.、除外 1社(社名)  
(注) 詳細は、添付資料3ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	88,605,625株	26年3月期	88,605,625株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	54,827株	26年3月期	54,275株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	88,551,140株	26年3月期2Q	88,551,420株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響を受けましたが、政府の経済・金融政策の効果による企業収益の回復を背景に設備投資の増加や雇用情勢・所得環境に改善が見られる等、緩やかな回復基調が続きました。また、海外においても一部新興国に弱さが見られますが、欧米を中心に緩やかな回復傾向で推移しました。

このような環境の下、当社グループは、国内では取引先である非鉄卸売事業会社を株式取得により子会社化するなどの活動を通じて、販売体制の強化を進めてまいりました。また、海外では、メキシコにおける日系自動車部品メーカーの素材調達需要に対応するため、冷間圧造用鋼線の製造および販売を行う合弁会社を設立するなど、グローバルビジネス展開の基盤拡充を図ってまいりました。

業績につきましては、鉄鋼セグメントおよび非鉄金属セグメントを中心に堅調に推移した結果、売上高は4,264億58百万円（前年同四半期比3.5%増）、営業利益は30億45百万円（同22.1%増）、経常利益は29億97百万円（同35.3%増）となり、特別利益として固定資産売却益4億5百万円を計上したことにより、四半期純利益は19億85百万円（同97.3%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ①鉄鋼セグメント

鋼板製品および線材製品は国内向けの取扱量が微減となりましたが、価格は上昇しました。また、海外向けの取扱量も新興国における需要が伸び悩んだことにより減少しましたが、為替の影響により価格は上昇しました。棒鋼製品は主として国内需要が底堅く推移したことにより取扱量が増加しました。

この結果、売上高は1,415億88百万円（前年同四半期比5.2%増）、セグメント利益は15億69百万円（同11.8%増）となりました。

#### ②鉄鋼原料セグメント

輸入鉄鋼原料は取扱量が増加しましたが、価格は下落しました。冷鉄源は取扱量が増加し、価格も上昇しました。チタン原料は取扱量が減少し、価格も下落しました。

この結果、売上高は1,561億16百万円（前年同四半期比6.6%減）、セグメント利益は4億3百万円（同15.0%減）となりました。

#### ③非鉄金属セグメント

銅製品は自動車向け端子材用銅板条の販売が堅調に推移し、また、半導体向けリードフレームの取扱量が増加しました。アルミ製品は自動車向けアルミ部材、鉄道車両用アルミ押出材および輸出用缶材の取扱量が増加しました。非鉄原料はアルミ地金およびアルミスクラップの取扱量が増加しました。

この結果、売上高は997億92百万円（前年同四半期比15.1%増）、セグメント利益は6億13百万円（同100.2%増）となりました。

#### ④機械・情報セグメント

機械製品は大型圧縮機等の取扱いが減少しましたが、製鉄関連資機材および建設機械用輸入部材の取扱いが増加しました。情報関連商品は太陽電池関連資材、液晶用電子材料等の取扱いが増加しました。

この結果、売上高は329億14百万円（前年同四半期比15.5%増）、セグメント利益は2億24百万円（前年同四半期は72百万円の損失）となりました。

#### ⑤溶材セグメント

溶接材料は、造船、建築鉄骨、化工機向けの取扱量が増加し、中国向け輸出の取扱量も増加しました。溶接関連機器は国内造船業界向けの取扱いが減少しましたが、生産材料の取扱量は増加しました。

この結果、売上高は191億43百万円（前年同四半期比12.6%増）、セグメント利益は1億93百万円（同270.5%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は2,416億90百万円となり、前連結会計年度末比93億72百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は2,012億65百万円となり、前連結会計年度末比64億84百万円増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金、短期借入金増加によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は404億25百万円となり、前連結会計年度末比28億87百万円の増加となりました。これは主に四半期純利益の計上およびその他有価証券評価差額金の増加によりその他の包括利益累計額が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

景気の先行きは消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の長期化、タイや中国などの一部新興国の成長鈍化懸念から依然不透明な状況であります。

なお、平成27年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成26年4月28日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

Kobelco CH Wire Mexicana, S.A. de C.V. は当第2四半期連結会計期間に設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

法人税等ならびに繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法について、当社は原則的な方法によっております。但し、一部の関係会社においては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,288	18,378
受取手形及び売掛金	137,420	144,052
商品及び製品	22,243	24,327
仕掛品	278	265
原材料及び貯蔵品	385	534
前払金	14,181	10,992
繰延税金資産	679	749
その他	3,205	3,681
貸倒引当金	△212	△179
流動資産合計	194,471	202,803
固定資産		
有形固定資産	6,877	6,331
無形固定資産	1,326	1,178
投資その他の資産		
投資有価証券	26,624	28,218
その他	3,182	3,296
貸倒引当金	△164	△136
投資その他の資産合計	29,642	31,378
固定資産合計	37,846	38,887
資産合計	232,318	241,690
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	121,947	123,973
短期借入金	20,894	25,800
未払法人税等	626	956
賞与引当金	818	985
その他	20,662	21,417
流動負債合計	164,949	173,133
固定負債		
長期借入金	27,436	25,162
役員退職慰労引当金	38	51
退職給付に係る負債	627	659
その他	1,729	2,258
固定負債合計	29,831	28,131
負債合計	194,780	201,265

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,650	5,650
資本剰余金	2,703	2,703
利益剰余金	25,463	27,183
自己株式	△17	△17
株主資本合計	33,800	35,519
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,501	2,577
繰延ヘッジ損益	54	△27
為替換算調整勘定	22	△555
その他の包括利益累計額合計	1,578	1,994
少数株主持分	2,158	2,910
純資産合計	37,537	40,425
負債純資産合計	232,318	241,690

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	412,177	426,458
売上原価	400,920	414,010
売上総利益	11,256	12,447
販売費及び一般管理費	8,762	9,402
営業利益	2,494	3,045
営業外収益		
受取利息	29	18
受取配当金	330	386
為替差益	—	373
デリバティブ評価益	481	—
持分法による投資利益	155	137
雑収入	190	182
営業外収益合計	1,188	1,097
営業外費用		
支払利息	305	286
売掛債権譲渡損	358	295
為替差損	621	—
デリバティブ評価損	—	408
雑損失	181	154
営業外費用合計	1,466	1,145
経常利益	2,215	2,997
特別利益		
固定資産売却益	—	405
投資有価証券売却益	—	2
特別利益合計	—	407
特別損失		
投資有価証券評価損	9	—
出資金評価損	58	—
会員権評価損	4	—
特別損失合計	72	—
税金等調整前四半期純利益	2,143	3,405
法人税、住民税及び事業税	1,074	1,283
法人税等調整額	62	124
法人税等合計	1,136	1,408
少数株主損益調整前四半期純利益	1,006	1,996
少数株主利益	0	11
四半期純利益	1,006	1,985

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,006	1,996
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	767	1,077
繰延ヘッジ損益	△24	△81
為替換算調整勘定	1,256	△529
持分法適用会社に対する持分相当額	190	△97
その他の包括利益合計	2,189	368
四半期包括利益	3,196	2,365
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,077	2,401
少数株主に係る四半期包括利益	118	△35

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計			
売上高									
外部顧客への売上高	134,584	167,133	86,676	28,489	17,001	433,884	186	△21,893	412,177
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	0	—	—	0	—	△0	—
計	134,584	167,133	86,676	28,489	17,001	433,884	186	△21,894	412,177
セグメント利益又は 損失(△)	1,404	474	306	△72	52	2,165	25	24	2,215

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計			
売上高									
外部顧客への売上高	141,588	156,116	99,791	32,914	19,143	449,554	199	△23,295	426,458
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1	—	—	1	—	△1	—
計	141,588	156,116	99,792	32,914	19,143	449,556	199	△23,297	426,458
セグメント利益	1,569	403	613	224	193	3,004	22	△29	2,997

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。